

島根原子力発電所 安全対策等の実施状況をお知らせします【平成25年6月】(1/2)

～更なる安全対策として以下の対策に鋭意取り組んでいます～

フィルタ付ベント設備の設置

万が一、炉心が損傷した場合でも、放射性物質の放出量を大幅に低減できるようフィルタ付ベント設備を設置します。
[平成26年度中完了予定]

■ 平成25年5月、2, 3号機において、フィルタ付ベント設備の土木工事に着手しました。

＜フィルタ付ベント設備イメージ図＞

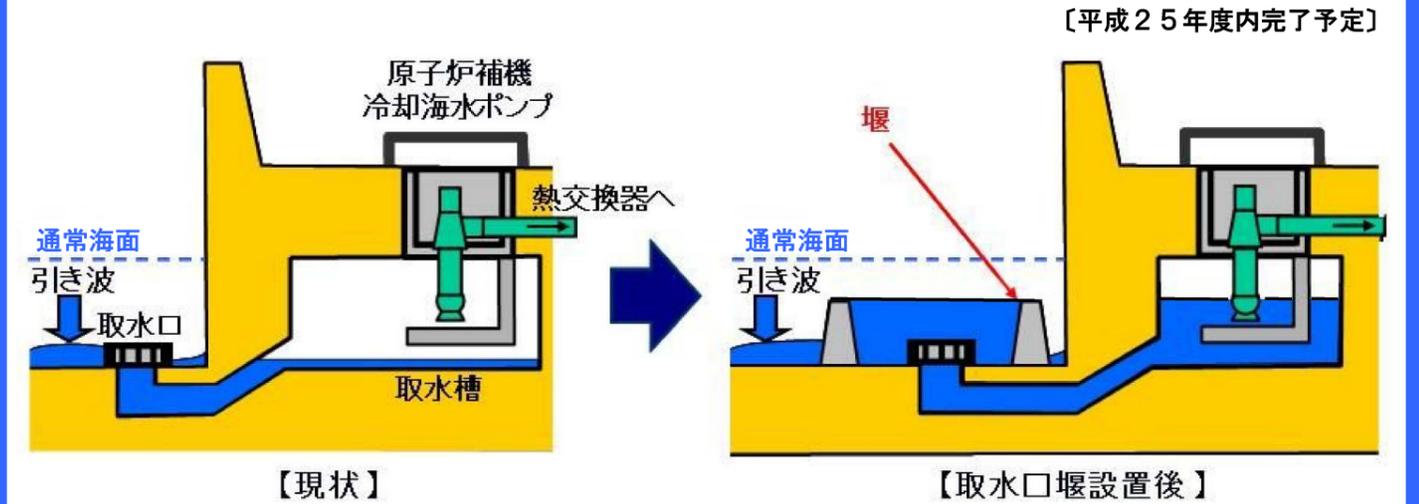
フィルタ付ベント設備の概略寸法

- フィルタ付ベント設備本体の概略寸法・設置数
概略寸法：直径約2m、高さ約8m（円筒形）
設置数：4基（2号機）、5基（3号機）
- フィルタ付ベント設備格納槽の概略寸法
幅約13m×長さ約2.5m×高さ約1.2m（2号機）
幅約13m×長さ約2.8m×高さ約1.4m（3号機）

3号機フィルタ付ベント設備工事状況

取水口堰の設置

津波襲来時の引き波により想定を大きく超える水位低下が起こった場合でも、原子炉の熱を除去するための海水が取水できるよう、3号機の取水口周りに海水を貯めるための堰を設置します。
[平成25年度内完了予定]



直流給電車の配備

高圧発電機車（交流電源）から直流負荷に給電できるように、直流給電車を配備します。
[平成25年度内完了予定]



防波壁の強化（1, 2号機エリア コンクリート打設工事完了）

更なる信頼性向上策として、発電所構内全域について、防波壁を海拔15mに強化します。

[平成25年度上期完了予定]

3号機エリア：平成24年1月完了

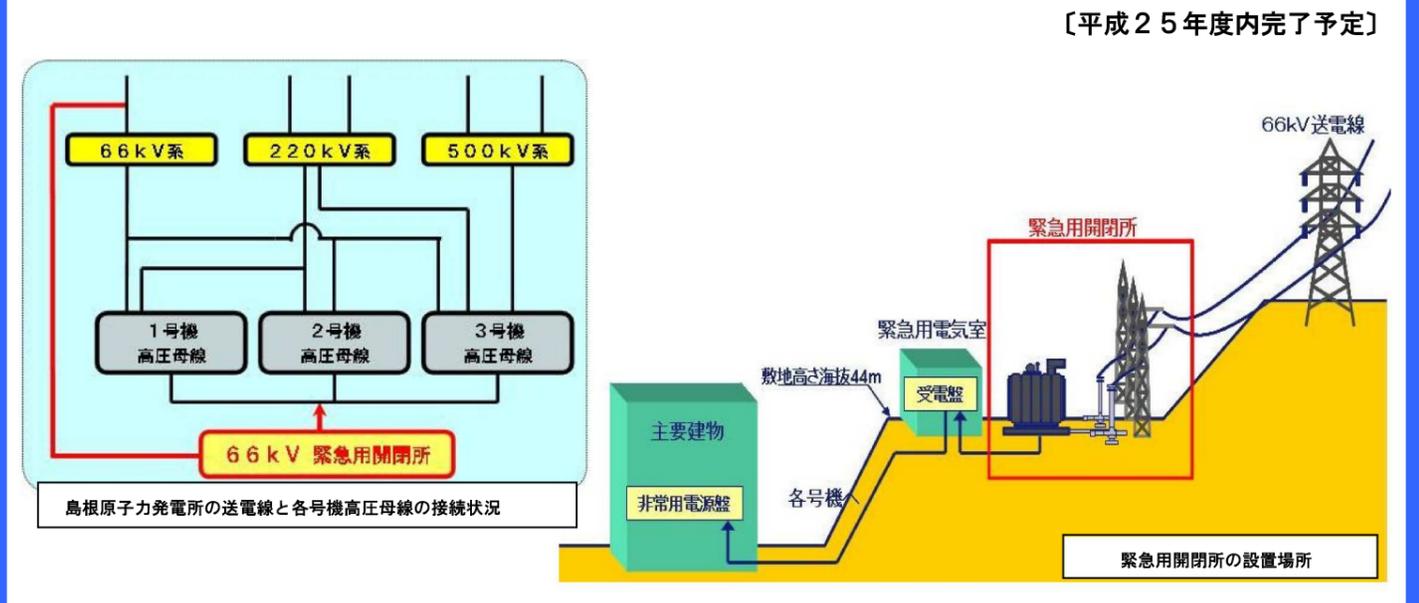
■ 1, 2号機エリアではコンクリート打設工事が5月末に完了し、現在、防波扉（※）の設置を実施しています。

※車両等の通行のため、防波壁に設ける水密性を有した大型の扉



66kV受電設備の強化

発電所に接続する66kV系、220kV系、500kV系全ての送電回線から各号機への電力供給が可能となっていますが、66kV系からの受電の更なる信頼性向上対策として高台に緊急用開閉所を設置します。
[平成25年度内完了予定]

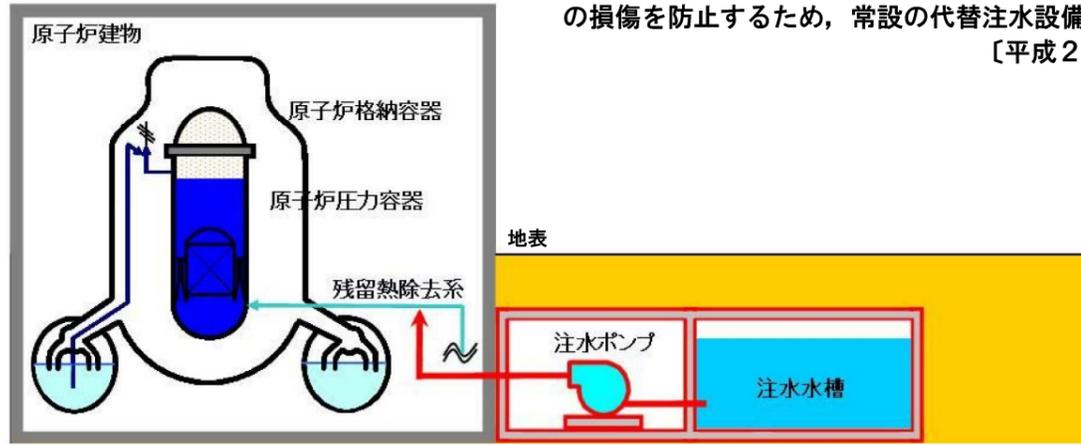


島根原子力発電所 安全対策等の実施状況をお知らせします【平成25年6月】(2/2)

～更なる安全対策として以下の対策に鋭意取り組んでいます～

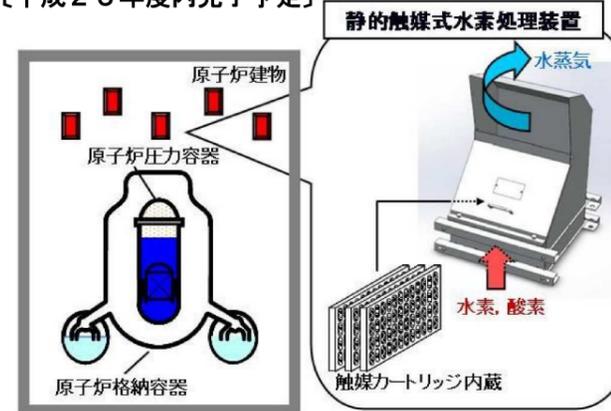
常設代替注水設備の設置

原子炉冷却機能が喪失した場合、速やかに原子炉を冷却し、炉心の損傷を防止するため、常設の代替注水設備を設置します。
〔平成25年度内完了予定〕



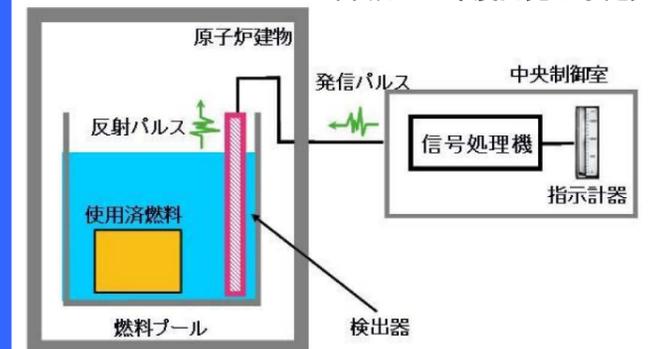
静的触媒式水素処理装置の設置

原子炉建物に水素が滞留した場合にも、水素濃度を低減するため、原子炉建物内に水素処理装置を設置します。
〔平成25年度内完了予定〕



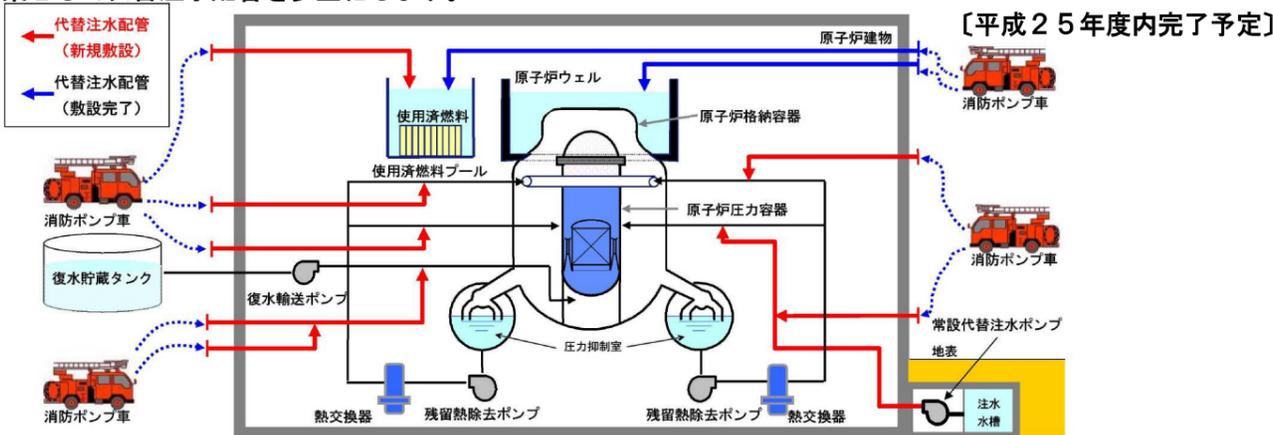
燃料プール水位計の追加設置

燃料プールの冷却または注水機能喪失により、燃料プール水位が低下する過酷な事象を考慮しても継続的に水位を測定・監視できるように水位計を追加します。
〔平成25年度内完了予定〕



代替注水配管の設置（多重化）

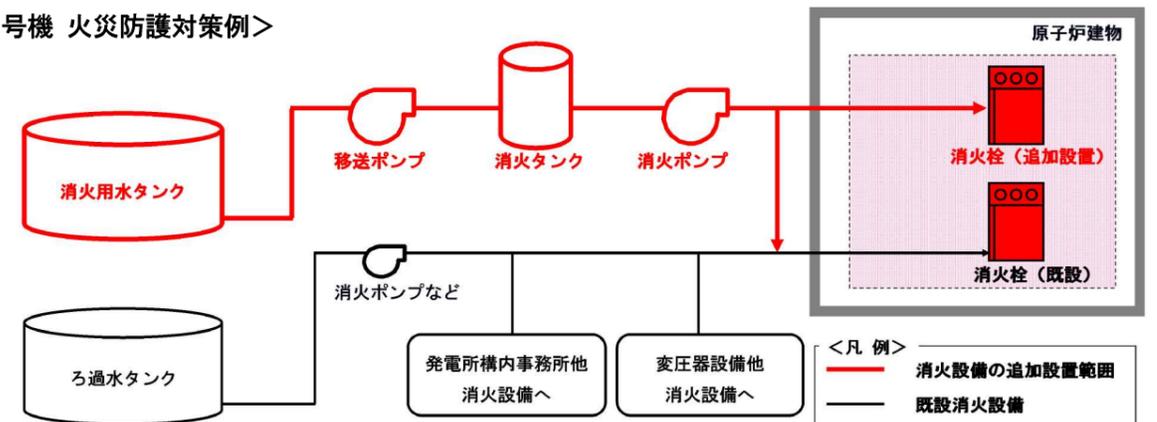
これまで原子炉・燃料プールを冷やす対策として代替注水配管の敷設工事を実施してきましたが、更なる信頼性向上対策として代替注水配管を多重化します。
〔平成25年度内完了予定〕



火災防護対策の強化

建物内で万が一、火災が発生した場合にも、原子炉施設の安全性が損なわれないよう消火設備を強化します。
〔平成25年度内完了予定〕

<3号機 火災防護対策例>



代替電源設備（ガスタービン）発電機車の配備

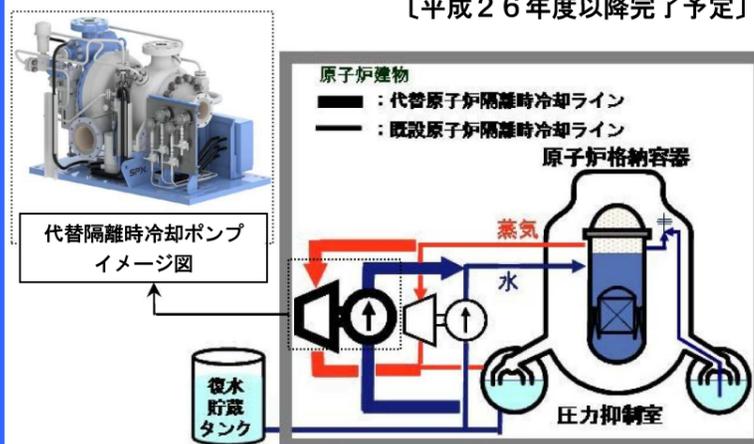
高圧注水系などの電源を強化するため、ガスタービン発電機車を配備します。
〔平成25年度内完了予定〕



ガスタービン発電機車イメージ図

代替原子炉隔離時冷却ポンプの設置

高圧注水系の強化として代替原子炉隔離時冷却ポンプを設置します。
〔平成26年度以降完了予定〕



排気筒の耐震裕度向上工事

排気筒については、耐震安全性を確保していることを確認していますが、原子炉建物至近に位置する大きな構築物であることから、より一層の裕度を確保するため、耐震裕度向上工事を実施します。
〔2号機 平成26年度内完了予定〕

